

最近の雇用失業情勢(令和4年12月:ポイント版)

岐阜労働局 職業安定部

- ① 完全失業率(岐阜県:2022年7~9月モデル推計値)は、1.6%(前期は1.7%、前年同期は1.7%)
 全国の12月の完全失業率(季節調整値)は、2.5%(前月は2.5%、前年同月は2.7%)

*** 過去最高は5.5%【平成21年7月】**
 【資料出所:総務省統計局】
- ② 12月の岐阜局の有効求人倍率(季節調整値)は、前月より0.01ポイント低下の1.67倍となった。
【全国第3位(前月4位)】

*** 過去最低は0.45倍【平成21年6月~8月】、過去最高は5.66倍【昭和48年11月】**
- ③ 新規求人数(原数値)は15,550人(前年同月比1.7%増)で、前年同月比は22か月連続の増加。
 産業別では医療・福祉(前年同月差+365人)、公務・その他(前年同月差+338人)、サービス業(前年同月差+205人)などで増加。
 製造業(前年同月差▲307人)、建設業(前年同月差▲183人)、卸売業、小売業(前年同月差▲86人)などで減少。

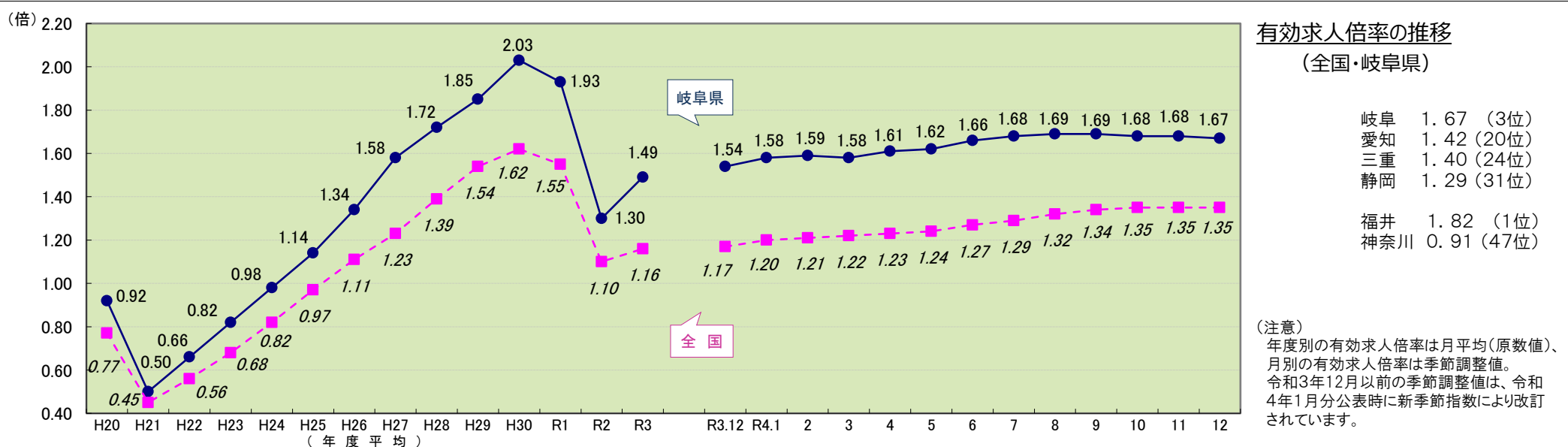
*** 新規求人に占める正社員求人の割合は約47.5%**
- ④ 新規求職者数(原数値)は4,306人(前年同月比1.0%増)となり、前年同月比は7か月ぶりの増加。
 常用求職者(パートを含む)のうち事業主都合による離職者数は609人(前年同月比29.6%増)で、前年同月比は2か月ぶりに増加。

*** 新規求職に占める正社員希望の割合は59.9%**
- ⑤ 東海3県の企業短期経済観測調査結果(12月調査)の雇用人員判断(「過剰」-「不足」)は、製造業では前期より不足が増加(-11→-14)、
 非製造業では前期より不足が増加(-25→-30)、全産業では前期より不足が増加(-18→-21)。

【資料出所:日本銀行名古屋支店】
- ⑥ 12月の倒産件数は5件(前年同月比37.5%減)で、前月の5件と横ばいで、前年同月の8件より3件下回った。
 負債総額は4億2400万円(前年同月比65.7%減)
 業種別では、「製造業」、「小売業」が各2件、「卸売業」が1件であった。
 主因別では、「販売不振」が4件で、その他経営者の病気・死亡が1件であり、引き続き不況型倒産が主因の傾向に変わりはなかった。

【資料出所:帝国データバンク岐阜支店】
- ⑦ 12月の雇用保険の受給資格決定件数(一般求職者給付)は1,164件(前年同月比6.4%増)で、前月より302件減少。(※2.4月分~4.12月分は速報値のため、修正となる場合があります。)
 受給者実人員(基本手当基本分)は5,558人(前年同月比4.4%減)であった。

*** 受給者実人員の過去最高は17,503人【平成21年5月】**



(注)ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴い、令和3年9月以降の数値には、ハローワークに来所せずオンライン上で求職登録した求職者数が含まれている。